



こんにちは!

市議員 井坂博文 です



連絡先/日本共産党北地区委員会：京都市北区紫野雲林院町 78 / 電話 432-3261 / FAX441-4968

台風21号被害対応 に奔走

9月4日、市会文化環境委員会は開会時に委員どうしで相談して午前中で終わり、ただちに自宅に戻り待機。風が収まり、区内を車でまわり被害状況を調査。西大路通りの交差点数箇所信号が停電し、警察官が出勤して手信号で誘導している。北区の北部地域ではかなりの倒木による交通遮断、停電の情報が入っている。市内の至る所で屋根瓦が飛んだり、建物の損壊が激しいという連絡が次々と入ってくる。

また今宮神社に被害が

5日、神社仏閣の被害が相次ぎ、北区では平野神社の仏殿倒壊が報道されているが、今宮神社も大変になっている。朝一番に訪問し、神社内を回ってみた。境内だけでなく社殿の裏山の木も倒れている。宮司さんは対応におおわらわで、職員の方にお見舞いの声かけをした。昨年10月台風、今年の迷走台風が続く



被害に胸が痛む。

復旧ボランティア

続いて台風被害の復旧作業ボランティアに。早朝、高齢夫婦の方から連絡があり「台風で屋根瓦が飛び、雨漏りして二階と階段が水浸し。工務店に連絡しても「返事します」というだけで改修の目処が立たない。どうしたらいいのかわかるか？」

すぐに京建労北支部に連絡して相談。とりあえず書記の方がブルーシートの応急措置してくれることになり、一緒に



現場に。まるで瓦職人のように屋根の上上がり、瓦をとりあえず元に戻し、ブルーシートを張り、紐で補強した。これで当面の雨対策にはなる。依頼者も「すぐに来てくれてありがた。助かった」と、とても喜んでいただいた。ホンマに頼りになる京建労だ。

小野郷地域の被害は深刻

9日、台風から5日経つてようやく北区小野郷と携帯で連絡がついた。聞けば、まだ電気と水が通らない、ようやく携帯が昨日から通じるようになり、給水車が来て水を配ってくれたが、道路が至る所で寸断され、162号線が通行止め。市内に行くには美山から園部に出て京都縦貫道からしか行けない、何より情報がまったく入らない、まるで陸の孤島だ。

電気が通じたのは13日。それまでは関電から2台の

住宅再建支援制度の活用を

ポータブル電源器と京都市の電源車で当座をしのぎ、簡易水道がようやく機能を再開し、断水が解消した。162号線はいまだに片側通行のまま。現地と毎日携帯で連絡を取り合っている。見舞い品をもって訪問し、被害地を見て回ったが倒木の状況は半端でない。原状回復とともに危険個所の道路付近の樹木を事前伐採しないと被害は繰り返されるのではな

京都市が被災住宅再建支援制度の適用を決めた。20日から申請受付が始まっている。被害状況に応じて再建に係る費用を支援するもの。罹災証明とともに申請が必要。詳しくは京都市のホームページ及び区役所まで連絡を。



11日、「翁長さんの遺志を継ぎ、沖縄県知事選挙勝利をめざす京都決起集会」が開かれ会場いっぱい。450人が駆けつけ、知事選挙勝利の決意を固めあった。

情勢報告をおこなった日本平和委員会の千坂さ

沖縄に連帯して

さんが紹介していた翁長さんの著書「戦う民意」(2015年12月発行)にある「勝てそうにないからと言って、相手の理不尽な要求に膝を屈し、そのまま受け入れるのではありませんか・・・私たちに

の言葉に胸が熱くなった。まさに、命をかけて沖縄の誇りと尊厳をかけて翁長さんは主張し、戦い、そして亡くなった。この遺志を継ぎたい。身体は沖縄に行けないが、あらゆるつながりを生かして声を届けたい。